



せいじょうだいがく りゅうがくせいべっ か

星城大学 留学生別科

けんしゅう か てい

日本語・日本文化研修課程

ぼ しゅうよう こう

2027 年度 募集要項

【日本語版】

にゅう し こうほう か

星城大学 入試広報課

あい ち けんとうかい し ふ きのだい

〒476-8588 愛知県東海市富貴ノ台2-172

TEL: +81-52-601-6000

FAX: +81-52-601-6010

URL: <https://www.seijoh-u.ac.jp> E-mail: nyushi@seijoh-u.ac.jp

留学生別科の概要

星城大学留学生別科「日本語・日本文化研修課程」（以後、留学生別科と呼びます）は、建学の精神（報謝の至誠、文化の創造、世界観の確立）に基づき、日本語および日本事情、日本および日本文化の理解を深めるためのプログラムです。また、日本の高等教育機関等への入学希望者にとって、日本語と日本文化に関する基礎知識を学ぶ進学準備課程として理想的なコースです。

留学生別科の目的

星城大学の建学の精神「彼我一体（報謝の至誠、文化の創造、世界観の確立）」を実現するためのプロセスを「自分づくり」と位置づけ、次の三つを留学生別科の目的とします。

1. 自律的な「自分づくり」を実践する人材の育成
自らの日本語能力を把握（モニタリング）し、主体的に学び続ける力を養います。
2. 多文化共生社会に寄与する「社会的存在」の育成
学習者を地域の一員（社会的存在）と定義し、教室という「社会」での対話や地域連携を通じて、多様な人々と協働できる力を養います。
3. 主体的な進路の自己決定の支援
自ら必要な情報を集め、自らの意志で進路を自己決定できる人材を育成します。

留学生別科の教育目標

学習者が大学等の専門教育へ円滑に接続し、自律的な「自分づくり」を継続できるよう、次の三つを教育目標とします。

1. 「ことばの力」：学術・専門分野における高度な日本語運用能力の確立
「日本語教育の参照枠 B2」レベルへの確実な到達を目標とします。経営学を含む人文・社会科学分野の資料や講義を多角的に理解し、複雑な内容を整理・比較・伝達できる高度な運用能力を養います。
2. 「つながる力」：多様な他者と対等に対話し協働できる力の習得
学習者を地域社会の一員（社会的存在）と捉え、他者の意見を批判的に聞いたり、対人関係に配慮しながら、多様な人々と対等に協働できる「社会の一員としての自覚と態度」を養います。
3. 「まなぶ力」：自律的に学びを管理・調整し続ける姿勢の確立
生涯にわたる「自分づくり」のために、自身の学習状況を客観的に把握（モニタリング）し、ポートフォリオ等を活用して自ら学びを調整する「自己調整能力」を養います。これにより、大学等への進学後も自律的に学び続ける姿勢を養います。

留学生別科の特色

1. 日本語関係科目は、学期ごとに日本語能力のレベルに合わせてクラス分けを行います。
2. 日本の文化や社会に関する日本事情関係科目および日本の高等教育機関等への進学に有益な基礎科目を開設しています。
3. 星城大学の一般学生が使用できる施設（図書館・食堂など）が利用できます。
4. 留学生別科生を対象に、星城大学の経営学部へ進学するための特別推薦制度があります。
5. 日本語能力試験などの資格取得を支援します。
6. 一定の条件を満たせば、科目等履修生・聴講生として経営学部の科目を履修、単位取得も可能です。
7. 星城大学で行われる行事、ボランティア活動に参加することができ、日本人学生との交流を深める機会があります。

授業内容

1. 開講科目と単位認定

留学生別科の教育は、授業科目の授業および課外活動により行われます。留学生別科の授業科目は「2. 授業科目」のとおりです。学生は各学期において、日本語科目を含め 14 単位以上を履修しなければなりません。授業科目を履修し、その試験に合格した者には、所定の単位を付与します。

2. 授業科目

区分	内容	科目名
日本語科目	日本の高等教育機関に進学できる日本語能力を養成します。	総合日本語 日本語（漢字・語彙） 日本語（作文） 日本語（小論文） 日本語（読解）
日本事情科目	日本の社会や文化、地理、歴史、愛知県のものづくりを理解する科目です。	日本事情 A（日本の文化） 日本事情 B（日本の地理） 日本事情 C（日本の社会） 日本事情 D（日本の歴史） 日本事情 E（愛知のモノづくり）
基礎科目	日本の高等教育機関等への入学希望者が必要な基礎学力と ICT リテラシーを身につけることができます。	多文化理解 情報基礎 数学基礎 外国語（英語基礎） 日本語実践演習
自分づくり科目	自分自身への理解を深め、どんな自分になりたいかを考えます。そのために何をどう学べばいいか、どう行動するかを考える科目です。	自律学習演習 キャリアデザイン

3. 修了証書

留学生別科の修業年限以上在学し、次の 3 つの基準を全て満たした者には、修了証書を授与する。

- 1) 出席率: 授業時数に対する出席率が原則として 80%以上であること。
- 2) 単位修得: コースごとに定められた単位（日本語科目、日本事情科目、自分づくり科目）を全て修得すること。
- 3) 目標レベルへの到達: 修了時において、複数教員による JOPT 判定および Can-do 評価に基づき、本課程の到達目標（B2 相当以上）に達していると認められること。

※ 修了の認定ができなかった者に対しては、「成績及び単位取得証明書」を授与します。

4. 既修得単位の認定

教育上有益と認めるときは、学生が他の大学または短期大学等において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む）を 7 単位以内で、留学生別科における授業科目の履修により修得したものとみなすことができます。

5. 経営学部科目履修(科目等履修生制度・聴講生制度)

経営学部の授業科目を科目等履修生、聴講生として履修を希望する場合は、留学生別科の教育に支障がない限りにおいて、各制度の出願条件等を満たし、選考の上で科目等履修生、または聴講生として履修を認める制度があります。また、科目等履修生には、本学学則、規程を準用して単位を認定し、請求があれば「履修証明書」を発行します。なお、聴講生は単位を認定できません。入学手続き時にご相談ください。

6. 施設利用

(1) 食堂をはじめ、大学内の諸施設を利用することができます。実習施設やグラウンド使用などの場合は、学修支援課にお尋ねください。

(2) 図書館の利用は、図書館利用案内に従って図書の閲覧をすることができます。なお、詳細については図書館員にお尋ねください。

7. その他

(1) 本学の学則・日本の法規に抵触する行為や留学生別科学生として適当でないと判断された場合、退学、除籍等の処分を科すことがあります。

(2) 在籍中の学費および生活費等が親族等の援助により確実に支弁できることが求められます。

募集コース・募集定員

課程名	コース名	修業年限	入学時期	目標とする 日本語能力	収容定員	2027 年度 募集定員
日本語・ 日本文化 研修課程	2 年コース	2 年	4 月	B2	28 名	14 名
	1 年 6 か月コース	1 年 6 か月	10 月	B2	4 名	2 名
	1 年コース	1 年	4 月	B2	4 名	4 名
			10 月 (交換留学のみ)	B1	2 名	2 名
合 計					38 名	22 名

入学試験日程

【春学期入学:4月入学】

入試区分	出願書類 ※必着	選考日	合格発表日	入学辞退締切日
海外現地入試	2026年8月3日(月)~9月7日(月) ※事前データ提出期限 8月24日(月)	9月下旬~10月中旬(予定)	選考日から 2週間後(予定)	2月19日(金)
国内入試	2027年1月5日(火)~2月11日(木) ※事前データ提出期限 1月15日(金)	2月20日(土)	3月1日(月)	3月26日(金)

【秋学期入学:10月入学】

入試区分	出願書類 ※必着	選考日	合格発表日	入学辞退締切日
海外現地入試	【A日程】 2027年1月15日(金)~2月5日(金) ※事前データ提出期限 1月29日(金)	3月中旬~下旬 (予定)	選考日から 2週間後(予定)	8月27日(金)
	【B日程】 本学が指定する提携校 2027年3月31日(水)~4月23日(金) ※事前データ提出期限 4月7日(水)	5月下旬 (予定)		
国内入試	2027年4月26日(月)~5月21日(金) ※事前データ提出期限 5月7日(金)	6月5日(土)	6月28日(月)	8月27日(金)

入試方法・入試会場

入試方法

- 書類審査
- 筆記試験
- 面接

入試会場

星城大学 本部東海キャンパス 〒476-8588 愛知県東海市富貴ノ台 2-172

※海外入試の場合、海外提携校を試験会場とし、現地またはオンライン(ハイブリッド方式)にて実施

出願資格

- (1) 日本以外の国籍を有し、次の(2)のいずれかに該当し、かつ(3)～(9)の条件を全て満たす者。
- (2) 次の①～④のいずれか一つに該当する者で、かつ、別に定める出願資格を満たす者。
- ①外国において学校教育における12年の課程を修了した者、または修了(見込みを含む)の者(日本での在学期間も合算可能)。または、これに準ずる者で文部科学大臣の指定する課程を修了した者。
- ②外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等の学力があるかどうかに関する認定試験で、であると認められる当該国の検定に合格した者。
- ③国際バカロレア等の国際的な大学入学資格を有する者。または、国際的な評価団体(WASC、ACSIまたはCIS)から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年課程を修了した者。
- ④本学において、個別の入学(出願)資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時に18歳に達する者。
- (3) 星城大学留学生別科科目履修に十分な次のいずれか(①/②)に該当する日本語能力があると認められる者。
- ① 次の日本語能力を有する者
- ・2年コース :文化庁「日本語教育の参照枠」におけるA1レベルに到達し、A2レベルの学修を開始する段階にある者。
・日常的で定型的な表現を理解し、使用できる。
 - ・1年6か月コース:文化庁「日本語教育の参照枠」におけるA2レベルに到達し、B1レベルの学修を開始する段階にある者。
・身近な事柄について、簡単かつ直接的な情報交換に応じることができる。
 - ・1年コース :文化庁「日本語教育の参照枠」におけるB1レベルに到達し、B2レベルの学修を開始する段階にある者。
・身近な話題や関心のある事柄について、標準的な話し言葉を理解し、一貫性のある説明ができる。
- | 試験名/目安レベル | 2年コース | 1年6か月コース | 1年コース |
|----------------|------------|------------|------------|
| JLPT 日本語能力試験 | N5 | N4 | N3 |
| J.TEST 実用日本語検定 | F級(300点以上) | E級(400点以上) | D級(500点以上) |
| 日本語 NAT-TEST | 5級(80点以上) | 4級(90点以上) | 3級 |
- ② 日本語の総学習時間が次の基準を満たす者 *1 単位時間は45分とする
- | | 2年コース | 1年6か月コース | 1年コース |
|---------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 日本語の
総学習時間 | 400 単位時間以上
(300 時間以上) | 600 単位時間以上
(450 時間以上) | 800 単位時間以上
(600 時間以上) |
- (4) 文化庁「日本語教育の参照枠」におけるB2到達以上の日本語力習得を目指し、原則として星城大学に進学を希望する者。
- (5) 外国の学校に在学する学生(協定校含む)については、その所属する学校長の推薦を受けた者。
- (6) 経費支弁者に日本での留学生活に必要な経費を支弁する能力がある者。
- (7) 出入国管理及び難民認定法において、在留資格「留学」「配偶者」「永住者」「定住者」を有する者または得られる者。
なお、過去に在留資格認定証明書交付申請において、不交付歴がある者は出願できません。
- (8) 入学日までに日本国内の大学の学部や日本語教育機関(予備教育機関)に在学した期間が1年を超えていない者で、在籍校から「転校の許可」を得ている者。
- (9) 合格後の義務:本学が提供するオンライン入学前教育(自主学習プログラム)を、入国・来日までの期間、計画的に受講できる者。

※ 出願資格を満たしているかご不明な場合は、入試広報課にお問い合わせください。

出願書類・出願手続

出願書類

	提出書類	備考
1	【様式 1】出願書	「2」の顔写真を 1 枚、貼付すること
2	顔写真	3 枚、背景無色、3ヶ月以内に撮影されたもの、縦 4cm×横 3cm
3	【様式 2】出願理由書・計画書	
4	【様式 3】日本語学習歴 調査書	
5	日本語学習歴証明書及び出席率証明書（原本）	・日本語を学習した教育機関が発行する証明書であること。 ・機関名・住所・電話番号・期間・総学習時間数などを記載すること。
6	日本語に関する試験の合格・認定証及び成績通知書（写し）	該当する試験の受験者のみ
7	高等学校の卒業証明書または卒業見込み証明書（写し）	
8	高等学校の成績証明書（写し）	
9	最終学歴の卒業証明書または卒業見込み証明書（写し）	
10	最終学歴の成績証明書（写し）	
11	在職証明書（原本）	職歴がある方のみ
12	【様式 4】経費支弁書	経費支弁者が署名すること
13	経費支弁者との関係（親子・親族）を証明する書類（原本）	戸籍謄本（抄本）や出生証明書等、市役所が発行する証明書
14	経費支弁者の預金残高証明書（原本）	金融機関が発行した預金残高証明書
15	経費支弁者の出入金明細書（原本）または通帳写し	過去 1 年分の出入金明細・通帳写し、または資産形成経緯説明書
16	経費支弁者の在職証明書（原本）または営業許可証（原本）	在職期間・勤務先正式名称・住所・電話番号を記載すること
17	経費支弁者の収入証明書（原本）	過去 3 年分の収入証明書
18	経費支弁者の納税証明書（原本）	過去 3 年分の納税証明書
19	検定料納付確認書	検定料の納付が確認できる書類（写し可）
20	【様式 5】推薦書	※本学が指定した志願者のみ
21	旅券（写し）	顔写真・査証ページ（日本への入出国記録が確認できる全ページ）
22	住民票（原本）	入試区分「国内入試」の受験者のみ
23	【様式 6】在留カード（写し）	
24	すでに在留・在籍している日本の学校の在籍証明書	

<記入にあたっての注意事項>

※書類はすべてA4 サイズの用紙で提出してください。

※日本語、英語以外で記載された書類には、必ず日本語もしくは英語の訳文を添付してください。

※出願書類は、出願前 3 カ月以内に発行されたものを提出してください。

※提出した書類は、一切返却しません。

※書類に不備・不足がある場合は受験資格を認めません。

※出願書類に虚偽の記入や改ざんが認められる場合は、受験資格を失うことがあります。また、入学後に発覚した場合は入学許可を取り消し、在留資格を失うことがあります。

※本学所定用紙は、留学生別科ホームページ「入試について」よりダウンロードしてください。

👉 <https://www.seijoh-u.ac.jp/academics/bekka/admissions/>

※その他、必要に応じて追加書類の提出を求めること、また直接問い合わせることがあります。

出願手続

Step1:すべての出願書類を順番通りにPDFファイル(A4 サイズ)にし、メールで事前データ提出期限までに提出(送付)してください。

👉 提出(送付)先:入試広報課より出願者に連絡いたします。

Step2:提出された出願書類の確認後、不備不足等の有無についてメールで連絡いたします。

Step3:メールの内容を御確認いただき、出願書類(原本)を国際スピード郵便(EMS、DHL など)または簡易書留等にてお送りください。

入学検定料

入学検定料

10,000 円 ※銀行手数料および事務手数料は各自でお支払いください

<振込先> 三菱 UFJ 銀行 柳橋支店 224 (MUFG Bank Ltd. Yanagibashi Branch) SWIFT code: BOTKJPJT

<口座番号> 0120026 (※海外送金:224-0120026)

<受取人名> 学校法人名古屋石田学園理事長石田正城 (※カナ:カ)ナゴヤインダガクエン)

<支店住所> 愛知県名古屋市中村区名駅南 1-16-30

1-16-30, Meiekiminami, Nakamura-ku, Nagoya-shi, Aichi, Japan 450-0003

TEL: 052-582-8211

合格発表・入学手続

合格発表

合格発表は、本学ホームページ上に掲載します。合格者には合格通知書および入学手続に関する書類を郵送します。可否結果の問合せには、一切応じません。

入学手続

(1) 合格者には、合格通知証、入学手続に関する書類、在留資格認定証明書交付申請書類(渡日前入学者)を郵送します。

(2) 入学に関する書類をご確認の上、入学手続締切日までに入学手続を完了してください。入学手続期限内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。

【合格後に提出する書類】

	提出書類	備考
1	パスポート(写し)	氏名記載・顔写真ページ、査証 VISA ページ
2	【様式 7】健康診断書(原本)	
3	結核非発病証明書(原本)	対象 6 ヶ国(フィリピン・ネパール・ベトナム・インドネシア・ミャンマー・中国)は「指定健診医療機関」が発行するもの、その他の国・地域は任意様式

学費等納付金

2 年コース	内 訳	区 分	金 額				
			1 年春学期	1 年秋学期	2 年春学期	2 年秋学期	合 計
	学 費	入 学 金	100,000 円	-	-	-	100,000 円
		授 業 料	300,000 円	300,000 円	300,000 円	300,000 円	1,200,000 円
	その他の経費		40,000 円	-	30,000 円	-	70,000 円
合 計							1,370,000 円

1年6か月 コース	内訳	区分	金額				
			1 年春学期	1 年秋学期	2 年春学期	2 年秋学期	合計
	学費	入学金	-	100,000 円	-	-	100,000 円
		授業料	-	300,000 円	300,000 円	300,000 円	900,000 円
	その他の経費		-	40,000 円	-	30,000 円	70,000 円
合計							1,070,000 円

1年コース	内訳	区分	金額				
			1 年春学期	1 年秋学期	2 年春学期	2 年秋学期	合計
	学費	入学金	100,000 円	-			100,000 円
		授業料	300,000 円	300,000 円			600,000 円
	その他の経費		40,000 円	-			40,000 円
合計							740,000 円

(1) その他の経費

- ・学生証発行手数料、留学生保険、留学生会費、ソフトウェア費、海外送金手数料（入学時のみ）、その他諸経費など（クラスや入学学期により多少異なる）。

(2) 学納金以外に別途必要な経費

- ・上記納付金のほか、学期ごとに教材代が別途、約 10,000 円かかります（日本語科目で使用する教材の購入費用）。

入学辞退

入学手続き後に入学を辞退する場合には、入学手続き書類に記載した日時までに星城大学入試広報課まで必ずご連絡ください。本学所定の「入学辞退届」を送付しますので、所定欄に記入・捺印（または署名）の上、メール等で提出してください。所定の期日までに手続きをした場合には、入学金（入学申込金）以外の学納金（授業料、その他の費用）を返還します。

星城大学留学生別科 3つのポリシー

アドミッションポリシー

留学生別科は、次のような学生を求めて、多面的・総合的な評価制度を入学選抜の基本的方針とします。

【求める学生像】

1. 日本の大学・大学院への進学をめざし、自律的に日本語学習に取り組む人
2. 積極的に日本社会や文化を理解し、より高度な日本語能力を習得したいと考える人
3. 将来に渡って日本に関わり、社会の発展に貢献したいという夢を持つ人

【入学までに身につけておくべき知識・能力等】

1. 300 時間以上日本語を学習し、以下の内容が最低限可能な日本語能力
 - ① ごく基本的な個人的情報や直接関係がある領域に関して、よく使われる文や表現を理解できる。
 - ② 身近で日常の事柄についての情報交換に応ずることができる。
 - ③ 自分の背景や身の回りの状況や、直接的な必要性のある領域の事柄を簡単な言葉で説明できる。
2. 日本語や日本文化に対する興味・関心
3. 日本または外国の学校における 12 年の教育課程修了
4. 多様な人々との協働活動に前向き・積極的に参加する意欲とチャレンジ精神

【入学後に求められる態度】

1. 正課外の多様な活動や、ボランティア活動など社会活動に主体性をもって参加する態度
2. 授業や課題に真剣に取り組むことで、日本語で課題を解決し、できることを増やそうとする態度
3. 生涯を通して学び続けるために、学び方を学ぶ態度
4. 異文化を理解し、受け入れる態度

カリキュラムポリシー

【教育内容】

日本の大学で学ぶための日本語能力の養成を目的とした日本語科目のほか、日本の言語、文化、社会を理解し、自らの関わりによって自己を充実させる日本事情科目、大学進学に必要な基礎学力や ICT リテラシーを身につけるための基礎科目、自分に必要な能力を具体的に意識し、自律的に学習する態度を育む自分づくり科目を設定する。

【教育方法】

- ・少人数クラスによる日本語の授業を行う。
- ・担任制で学生への個別指導を行い、来日直後から面談などを通じて、個々の学生に応じた教育を推進し、自ら進路選択ができるよう支援する。
- ・正課外の社会活動を通じて、多様な人と協働し、異文化理解能力やコミュニケーション能力を身につける。

日本語科目：

- ・「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やりとり・発表）」「書くこと」を含む課題解決型学習を通じて、日本語の運用能力を身につける。
- ・課題解決型学習活動を通じて、コミュニケーションの方略（ストラテジー）を認識し、自らの意志で方略を使える能力を身につける。
- ・自ら学習計画を立て、学び、それをふりかえることで自律性を養う。

日本事情科目：

- ・日本の文化、社会、言語を深く知り、出身国や第三国との比較を通して、自身の価値観に気づき、より広い視野を養う。また、異文化理解能力を身につける。

- ・PBL (Project Based Learning/プロジェクト型学習)を通して、自ら課題を見つけ、探求していく態度を育成する。
- ・地域の人々をはじめとする多様な他者との交流を通して、寛容な意識と態度で他者と関わり、よりよい関係性を築く力を身につける。

基礎科目：

- ・大学進学に必要な基礎学力と ICT リテラシーを身につける。
- ・情報収集、分析、発表などの言語活動を通して、日本語運用力を身につける。

自分づくり科目：

- ・「自分とはどんな人間か」を問いつつ、「社会に出るとはどんなことか」、「将来どんな自分になりたいか」を考え、意識づける。
- ・学習計画を立てたり、その計画を自分に合った方法で管理したり、調整したりできる自律学習能力を身につける。

【学習成果の評価】

- ・シラバスに評価方法を記載し、授業参加度・教室活動に対する貢献度や受講姿勢を含め、総合的に成績評価を行う。
- ・学期末の試験等により、厳格に達成度を評価する。
- ・学期開始時に現状の能力を自己評価し、学期末に学習成果を自ら評価する。

ディプロマポリシー

- ・日本の大学で学ぶために必要な日本語運用能力と、基礎学力を身につけている。
- ・自分に必要な能力を具体的に意識し、自律的に学習を進めることができる。
- ・日本と出身国や第三国の言語、文化、社会を尊重し、語ることができる。
- ・寛容な態度で他者と交わり、よりよい関係を築こうとする意識を身につけている。